

一橋大学 経済学研究科 上級マクロ経済学
2017年度夏学期

担当 経済研究所 阿部修人

nabe@ier.hit-u.ac.jp

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/~nabe>

Phone: 042-580-8347

研究室:経済研究所 3F

今年度の上級マクロ経済学の一部(10回)を阿部修人が担当する。後半でカバーする内容は、(1)世代重複モデル、(2)財政政策、(3)連続時間モデル、(4)実物景気循環理論、(5)動的計画法、(5)完備・不完備市場である。なお、授業は原則として日本語で行うが、質問や宿題・試験の回答に関しては英語、日本語のどちらかで回答しても構わない。

講義計画 (予定)

5月25日	木	OLG
5月29日	月	財政政策
6月1日	木	連続時間 OLG と動学最適化 1
6月5日	月	連続時間 OLG と動学最適化 2
6月8日	木	不確実性と完備市場
6月12日	月	RBC1
6月15日	木	RBC2
6月19日	月	動的計画法 1
6月22日	木	動的計画法 2
6月26日	月	異質個人と不完備市場

受講に必要な前提知識: 中級レベルのマクロ経済学・ミクロ経済学・および基礎的な計量経済学を習得していること。また、多変量解析の基礎(偏微分)および線形代数(行列演算および固有ベクトル)の知識を有していること。

受講対象者: 博士後期課程に進学を計画している大学院修士課程一年生を主な対象とするが、意欲のある学部生、就職予定の修士課程二年、博士後期課程の学生も歓迎する。

他の講義との関係: 上級マクロ経済学は大学院レベルのマクロ経済学を学習する上で必要な基本知識の習得を目標としている。より専門的な内容は複数開講されている応用マクロ経済学および金融経済論 I,II でカバーされる。したがって、マクロ経済学にかかわる分野

で本格的に研究を行う予定のものは他の講義も積極的に受講することが望ましい。また、マクロ金融ワークショップへの参加も歓迎する。

テキスト:

D.Romer, (2011) *Advanced Macroeconomics, 4th Edition*, New York: MacGraw-Hill.

D. Acemoglu (2011) *Introduction to Modern Economic Growth*, Princeton University Press.

O.J.Blanchard and S.Fischer, (1989) *Lectures on Macroeconomics*, Cambridge, Massachusetts: The MIT Press.

L.Ljungqvist and T.J.Sargent, (2012) *Recursive Macroeconomic Theory*, Third Edition, Cambridge, Massachusetts: The MIT Press.

講義は必ずしもテキストによらず、むしろ、<http://www.ier.hit-u.ac.jp/~nabe> で配布する予定の講義ノートを中心に使用する。無論、テキストの該当箇所を事前に読むと講義の理解は容易になるはずである。講義ノートの配布は私の web で行うので、たまに Check すること。

評価方法

宿題を数回課し、期末試験の成績と合わせて後半の成績をつける。宿題の weight は 10% ほどの予定。

Office Hours: 阿部:木曜の授業後、四時限目